

なかの

5月号

市議会だより

平成21年5月11日発行
No.16

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会
●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



高梨館跡公園のタカトオコヒガンザクラ

●市政一般質問 34件	陳情	意見書案	人事案			事件案	予算案	条例案	●議案件数及び議決内容	開会	閉会	会期
	2件 不採択	1件 修正可決 3件 否決	1件 推薦	1件 適任	7件 同意	21件 可決	25件 可決	17件 可決		3月3日	3月19日	17日間

3月定例会



中野市の観光振興対策について

竹内 知雄

質問 常設看板、仮設案内板の数が少なく目立ない。温かく迎えている様に思えないが考えはどうか。

答弁 今後、バラまつり期間外の対応も視野に入れ関係機関と協議していく。

質問 臨時駐車場にはトイレがなく、観光地評価として重要な要素であり、トイレの設置の考えはどうか。

答弁 設置するよう実行委員会と調整したい。
質問 信州中野インター近

辺にバラの花壇、一本木公園までの沿道にバラの植込みを提案したいがどうか。
答弁 心を癒す効果やバラまつりを盛り上げる相乗効果がある事から重要と考え、インター出口部や国道292号線沿い等植栽を行っている。
質問 乗務員の休憩所の設置対応はどの様な考えか。
答弁 設置は難しい。



市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。市政を知る良い機会です。みなさん議会の傍聴にお出かけください。

なお、日程は議事事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。
次の市議会定例会は、6月です。



新市民会館建設について

金子 芳郎

質問 文化施設の建設中止と捉えているのか、見直しか。

答弁 経済情勢の急激な悪化に伴い、計画どおり建設を進めることは困難と判断し、延期したものである。

質問 市民会館の耐震診断の予算組み入れの根拠は。

答弁 当面の間、市民の皆様にご利用いただくこととなるため、耐震診断を実施し、状況を判断し、適切な処置を考えていきたい。

質問 設計料、プロポーザ

ル料、著作権については。
答弁 計画延期の決定後、作業を中止し、業務の清算方法について協議しているところであるが、現在、双方が合意できるよう内容等を精査している。

質問 市長としての経済活性化策、景気対策の考えは。
答弁 市による施策だけで

中野市の経済状況についてどう捉えているか

質問 市長としての経済活性化策、景気対策の考えは。
答弁 市による施策だけで

は、現在の状況の改善は不可能なことから、国や県の経済対策の動向にも十分注意を払い、協調できるところは協調しながら、商工業振興策を更に推進することにより、市内経済環境の改善に努めていきたい。

質問 産業誘致推進室の取り組み、進め方については。
答弁 第一に、市内企業の持続発展に向けた支援。第二に、創業や新分野展開への支援。第三に、他地域と比較して本市の優れた条件を活かした企業誘致を掲げ、産業誘致を進めていきたい。

中野市経済を元気づけるためには、市内企業の持続的発展に向けた支援と創業や

新分野展開への支援に重心を移し、既存企業の企業力向上に向けた支援と地域資源を活かした産業の創設、起業支援に積極的に取り組んでいきたい。

中野高校用地問題について

質問 高校用地問題の対応策、取り組みについて。
答弁 長野県教育委員会から今日まで、高校用地問題の対応、取り組みについての働きかけ等はない。

質問 長期総合計画を見据えて必要と思われるが。
答弁 平成21年度中に十分検討していきたい。

質問 最低入札価格が設定していないからではないか。
答弁 前向きに検討する。

入札、落札結果について

質問 入札結果が不落、保留件数が多く見受けられるがどのように捉えているか。
答弁 保留の案件については低入札価格審査会で審査し、業者から聞き取りをして施工可能と判断したものは落札決定としている。

質問 最低入札価格が設定していないからではないか。
答弁 前向きに検討する。



中野平中学校跡地売却条件 緩和と教育・市内商店への 影響について

青木 豊一

質問 ①児童生徒に与える影響。②近隣区・PTAとの合意。③市商店への影響。
答弁 児童生徒への悪影響は考えていない。又近隣区等の合意は審査委員会で対応し、商業関係は商工会議所推薦委員に参加依頼する。

質問 学校跡地の草が倒れ管理に問題あり、一部を保育園駐車場として利用しており保護者が心配している。公募をストップし、商業者、PTA、保育園関係者
答弁 市で活用方法の検討を。審議会で議論する。
質問 市の発展をどうするか
答弁 基礎的検討がない。売却が主たる目的ではない。改築時の行政施策の欠陥に對する反省もなく商店や子育て家族に不安を強いいることは行政はやるべきでない。
答弁 新校舎建設時に売却することで進めてきた。

質問 ①新年度から介護保険料値上げが提案された。②支給枚数が減少した重度の高齢者や障がい者の理美容、紙おむつ、通院費等の助成券拡充をすべきである。
答弁 介護保険の基金を活用し区分を増やし抑制した。紙おむつ等の給付枚数の見直しは、行政改革推進委員会の答申を得たもので、当面考えていない。
質問 厚労省通達は基金を全て使うべきとしているが、審議会等で通達を示したか。
答弁 懇話会に出してない。
質問 紙おむつ代等3事業で年間市負担が263万円減った。福祉施策を行革の名で市民に負担転嫁は認められない。支給枚数増を図れ。

答弁 現行制度を維持する。
一本木公園整備等について
質問 昨年度事業費5千数百万円中、輸入製品は2千800万円で5割余になるが、市内業者からの購入はどうか。
答弁 輸入品は市内業者の取扱いはないと記憶する。
質問 光和創芸とバラクラナーセリーの代表は同一人物で、ケイ山田氏と肉親関係と聞く問題である。二次製品・植栽、レンガを含め市内商店から購入はあるか。
答弁 一本木公園整備での市内業者取扱はないと思う。
質問 9億円余の一本木公園拡張は地域経済や誘客効果にどの程度見込めるか。

市は10万人の来客者が商店街で買物等に結びつくよう商工会議所、商店連合会等と対応を考えるべきだ。
答弁 人数等つかんでない。
中野小学校グラウンドの改善など教育行政について
質問 中野小グラウンドが硬く運動会等に粉塵が上り、野球等での怪我や健康に心配がある。早期改善を望む。
答弁 現地で硬さを測定し、表層のほぐしなどすれば粉塵防止効果になると考える。
その他の質問
公共事業の分離分割発注で地元業者・小規模業者支援の拡大を



青少年の教育環境について

芋川 吉孝

質問 学校の安全はどうか。
答弁 地震対策については21年度で全ての小中学校の耐震補強工事を終了する。地震が起きた場合にはまず身を守ることを第一に考え対処する。不審者、変質者の学校敷地内への侵入対策

については、想定して訓練をしている。
質問 登・下校時の安全は。
答弁 最近不審者、変質者の事例がある。防犯ブザー、イエローカードや「子供を守る安心の家」、学校安全ボランティアの皆さんに御

協力いただき安全な通学環境を整えている。
質問 通学路の整備状況は。
答弁 通学路が未整備な地区が市内に数多くあり、西部地区区内にも未整備箇所があることは承知している。緊急的に対策が必要な箇所から対応する予定。

中野陣屋前広場の活用について
質問 陣屋前広場をどう捉えているか。
答弁 中野商工会議所が借りている部分を含め、一体的な活用が望ましいので、今後は全体的な利用方法を検討したい。
質問 検討委員会より報告書が提出されたが今後の計画は。
答弁 検討委員会は使命を終了したので委員には今後

も市民として参加をお願いする。運営計画には民間の皆さんにも多く参加をいただき、地元商店会や中野商工会議所にも積極的に参画をお願いしたい。
質問 当面の課題は。
答弁 日常的に大変利用の多い場所なのでトイレの設置、地面の舗装について財政状況を考慮して行う。他の課題については今後研究する。



**福祉医療の自己負担増額に
反対し、子どもの医療費無
料化の拡大を**

野口 美鈴

質問 長野県は今年10月か

ら乳幼児、障がい者、一人親対象の福祉医療の自己負担金1レセプトあたり、現在の300円から500円に引き上げの予定。県民の声も聞かざった2回の検討会での決定は市民の理解が得られない。市として反対の意思表示をすべきではないか。

答弁 持続可能な福祉医療サービスのために、やむを得ないものとして本市も県と同様な見直しを実施する。
質問 今、不況と雇用悪化

が進み市民のくらしは大変。緊急子育て支援としても、実施された場合は市の補助で自己負担の軽減を求める。

答弁 軽減は考えていない。
質問 本市は小学校3年生まで医療費無料だが、近隣自治体のようにせめて6年生まで無料にできないか。

答弁 当面現状維持でいく。
児童クラブの充実について
質問 働く親にとって、子どもの放課後や学校休業中、

安心して生活の場の学童保育の充実は大きな願いだ。地区社協に委託の5か所の児童クラブについては、協議会を設置し関係者がより安心できる、統一的な条件整備等が必要ではないか。

答弁 研修等で連携を図っているが、特色を活かした各児童クラブの意向を聞きながら連絡会を開催したい。
質問 指導員の雇用・労災保険、傷害保険加入は公的施設として、市あるいは社協での対応をお願いしたい。
答弁 各児童クラブの意見を聞き、今後検討したい。

教育に格差等持ち込まない教育的配慮について
質問 雇用不安、貧困・格

をお願ひするの。また、策定業務の委託は委託先への丸投げにならないか。
答弁 農業分野ではJA、県農業改良普及センター、農業者代表、環境分野では環境団体や消費者団体、また公募委員、さらに専門知識を持った学識経験者を考えている。策定業務は知識

差が拡大し、家計の教育費への悩みが深刻化する中で中学校制服は、金額、形等学校毎に一本化すべきでは。

答弁 デザイン、生地の違いで価格に差があるが、自由な選択を排除するのは、如何なものかと思われる。
質問 何のための制服か。

近隣自治体は一本化されている。経済状況の悪化する中で1万円以上の価格の差やデザインの違いが保護者や生徒に負担を与えている。教育委員会として新年度早期に教育的配慮をすべきだ。

答弁 制服は各小学校長の許可で決められている。中学校から声は聞いていないが今後、検討していきたい。
質問 スキー教室用のスキーはリースかレンタルか

と経験を有するコンサルタント会社に委託して支援をお願いするが、策定に当たっては、構想策定委員会や庁内検討委員会において主導的に議論を進め、本市の実情に合った構想を策定していく考えである。
質問 中野市は日本一のキノコの産地であると同時に、

式で負担を軽くできないか。
答弁 リース希望者には学校で手配してる。レンタル方式は現時点では難しい。
質問 有害DVD自販機の期間満了分は年度内撤去を。
答弁 通電されてないものもあり早期撤去に取り組み

日本一のキノコ廃培地を産出している。その燃料化、なかでもバイオエタノール化を目玉として、産学官一体となった研究中野市でできるような国に働きかけができないか。中野市が研究モデル都市として名乗りを上げ、国の最先端の頭脳と技術と資金を投入できれば、



バイオマスタウン構想について

町田 博文

質問 バイオマスタウン構想の目玉は何か。

答弁 生ごみ、家畜排せつ物、キノコ使用済み培地を中心に検討していきたい。

このため、バイオマスタウン構想策定委員会を設置するほか庁内検討委員会も設置することとしている。

質問 どんな方に策定委員

その研究成果は中野市のみならず、国にとつての一大戦略となり得ると思う。

答弁 バイオエタノール化及び国のモデル事業との関係等について、構想策定委員会あるいは関係の皆さん方と研究していきたい。

リンゴ「秋映」の振興について

質問 秋映は、中野生まれ

のりんごである。市としてもその普及に強力で支援していったらどうか。

答弁 各種イベント等の機会を活用し、今後も普及促進していきたい。また、広報等を通じて秋映コンクールの周知を図り、PRに努めていきたい。

質問 故小田切健男氏が苦勞に苦勞を重ね秋映を育成した例に習い、今後もこうした品種改良への果敢な取

り組み・挑戦が中野市内外において積極的に展開されるよう、リンゴに限らずモモ、ブドウ、ナシも含めて品種改良に功績のあった者に対して、小田切健男賞という表彰制度を創設したらどうか。

答弁 ご家族の皆さん方や関係の皆さん方と十分お話をさせていただく中で対応していきたい。

その他の質問
定額給付金、子育て応援特別手当、妊婦健診無料化について

景気・雇用対策について



の目的と内容について。

答弁 現実の災害に即し、各種災害発生時の対応について記載してある。

北信濃広域観光について

質問 ぶらり北信濃ひな巡りの成果と展望について。

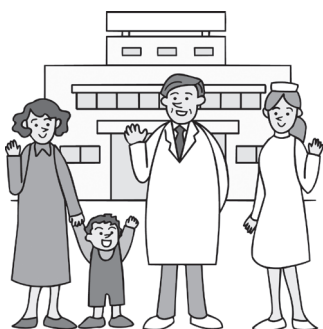
答弁 本年度5年目を迎え、北信5市町の観光協会等が中心に実施しており、最近では、北信濃に春の訪れを告げる風物詩として定着しつつある。

質問 土人形の里づくり事業について。

答弁 市街地で土人形の制作体験が行える「まちなか交流の家」と東山で土人形の絵付け体験が行える「土

人形資料館」を核として、市街地と東山に体験観光事業を中心とした回遊性が生まれる事業を展開していくことが必要と考える。

その他の質問
中野ひな市について



北信総合病院の現在地存続の意義について

深尾 智 計

質問 存続・移転した場合の問題点、また市長の見解はどうか。

答弁 北信総合病院については、施設の老朽化等への対応や、高度化する医療提供に対応するための施設整備が研究課題である。

現地改築した場合は、現状の診療機能を維持しながら、順次、施設整備を繰り返していくことから、工事期間が長期に亘り、仮設費用もかさむことが懸念される。また、現在の敷地を利用することから、用地取得

費が削減できるが、従来から施設敷地の狭小が言われており、改築の際には敷地の拡大が検討課題となる。

一方、移転、改築した場合には、現病院をそのまま運営しながら施設整備ができるため、入院・通院患者の皆さんに不便をかける心配はないが、広大な敷地を確保する必要があり、それに要する用地買収費等が莫大になる。

市としては、地域の基幹病院である北信総合病院が、より市民に親しまれ、更に

質問 防災ガイドブックの具体的な内容について。

答弁 千曲川及び夜間瀬川の浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所などを明記した防災ハザードマップ、震災や風水害などの自然災害が発生した場合の、身の安全を確保するための対処方法、避難方法などを掲載する。

質問 中野市地域防災計画

文化公園を観光の発信

エリアとして



沢田 一男

質問 開園から今年で18年を迎える事になるが、アピール度が弱く全体に物足りなさを感じるがどうか。

答弁 活性化懇話会の提言内容を踏まえ環境を活かした具体的な取組を進めたい。

質問 活用が望まれる芝野地籍を梅林公園の名所づくりも考えられるがどうか。

答弁 活性化策を進めるなかで有効利用を研究したい。

質問 市立博物館は中野市を一望できる絶好のエリア

であり立地を活し広域的な観光の発信拠点としての活用が必要と思うがどうか。

答弁 本市のほぼ中央に位置する文化公園が観光の魅力の点となるよう一帯の魅力の発信に努めていきたい。

質問 観光面で柳沢遺跡の積極的な活用が望まれるが。

答弁 博物館で保存管理をレプリカも視野に検討する。

水道水源対策について



佐藤 恒夫

質問 水道水の需要予測と水量確保の見通しはどうか。

答弁 給水人口の減少、大口使用者の自己水源への転換、節水意識の高まりなどにより、需要量は年々減少する見込みである。平成26年度の給水人口は4万1千568人、一日最大給水量2万3千234³m³、取水量2万3千780³m³と見込んでおり、取水量の内1万³m³は角間ダムからの取水を見込んでいる。

る古牧東西水源の水質の問題や取水量の減少を補うため、2年間にわたり2か所で地下水の試掘調査を実施した。結果については、水質・水量とも概ね良好な水源であるとの結果を得ているが、将来的に安定した水質・水量かどうかについては、今しばらく経過を見る必要がある。

質問 県管角間ダムについて、今後長野県とどのように協議を進めていくのか。

答弁 本市としては、既存水源の将来展望に立った時、ダムは必要であるとの立場



に変わりはないが、逼迫する財政面での負担が大きいことも事実である。近い将来、県の判断が下され、本市としての判断を迫られると思うので、状況を見守りながら、関係団体と連携を図り、対応していく。

教育にかかわる諸問題について

質問 市内小学校の規模の適正化について、今後の検討スケジュールはどうか。

答弁 平成21年度中は教育委員会内部で検討を進め、

赤坂農村公園について



中 島 毅

質問 県管中山間総合整備事業は、県単独事業で、平成19年・20年の2か年で、面積1haの半分0.5haに東屋、トイレ、駐車場、遊歩道等が整備された。残り0.5haの市単独事業での整備計画と管理等については。

答弁 ドックランを設け、大型犬と小型犬のエリアに区分けし、水飲み場等を設置し、施設は当面市が直営

で管理したいと考える。

質問 近隣施設の総合的、利用促進と活性化について。

答弁 豊田農産物加工施設や豊田ふるさと交流館は、赤坂農村公園に隣接しており、各施設との相乗効果が上がると期待している。

豊田ふるさと交流館では、ふるさと雇用再生特別事業で、そば打ち職人を養成することとしている。

平成22年度頃から地域の皆さんの意見を聞くための懇談会を開催していく。

質問 学校給食センターの安全・衛生管理面での指導体制、検査体制等はどうか。

答弁 文部科学省の「学校給食衛生管理の基準」に基づき、日頃から衛生管理に注意を払っている。特に年末のインフルエンザやノロウイルスによる感染症が多発する恐れのある時期には、センターごとに研修会を開催し、衛生管理の知識や意識の向上に努めている。また、職員の保菌検査につい

ては、毎月2回定期的に実施しているほか、毎朝個別に健康状態を確認している。

質問 学校における携帯電話の取扱いについては。

答弁 携帯電話は学校現場において不要なものであると認識しているが、様々な課題、問題もある。家庭と学校と地域が連携して、共に考えていける場が持てるようにしていきたい。

その他の質問

平成21年度当初予算案について



平成21年度予算について

山岸 國廣

質問 地域医療の充実策と小田切カラーは。

答弁 緊急医療体制の充実支援策として、北信総合病院と共同で24時間体制の電話医療相談所の開設、雇用の安定を推進するための、緊急雇用対策事業、ソフト面に重点を置き、市民生活対策を見据えた予算編成とした。

質問 文化公園一帯の活性化予算は。

答弁 里山の自然を活かし、楽しみ、遊べる一帯作りのための予算を計上した。

質問 中野陣屋前広場の活用について。

答弁 市全体の賑わいの創設と経済の活性化を視野に効率的な整備を検討したい。
質問 早期発注計画は。

答弁 緊急経済対策として、出来る限り早期発注として対応したい。

質問 合併の評価について。

答弁 5年経過した時点で検証したい。3か年経過後の評価は、行政コストの削減、広域的な街づくりの推進では、新市の総合計画、国土利用計画、環境基本計画の策定。生活基盤、公共施設の整備では、地域情報基盤整備、県道三水中野線、豊田中野線の事業促進、児童クラブの整備、学校給食

センターの整備を図った。
質問 新市発足5周年記念事業は。

答弁 予算措置はないが記念事業について検討したい。

ジェネリック医薬品について

質問 利用の現状と向上策。
答弁 利用は着実に拡大している。三師会の皆さん、市民、関係機関の理解と協力を得て推進したい。

傍聴席

★ お二人の議員一般質問。よく勉強されての質問に感激！

行政の答弁も的確と評価したいが、中長期的ビジョンのもとで一層明快な回答を。

質問、答弁に時間制限が定着、傍聴し易い。

いただいた傍聴感想文を掲載いたしました。
議会だより編集委員長



公会堂、集会所の耐震診断について

小泉 俊一

質問 昭和56年以前に建築された木造の公会堂、集会所について。

答弁 中野市地域防災計画で指定された避難施設のうち、区などが所有する木造の集会所等で、昭和56年5月以前の旧耐震基準により建築されたものは、平成19年に聞き取り調査を行ったところ、市内には49施設があり、避難者の収容能力の

合計は、2千681人である。
質問 区長からの診断の依頼について。

答弁 各区からの要望に基づき、平成20年度から実施しており、5施設について、耐震診断を実施した。

質問 耐震診断に要する費用と市の負担について。

答弁 昭和56年5月以前の旧耐震基準により建築された建築物で、地域防災計画

に指定した避難施設であれば、所有者の費用負担はない。耐震診断は、市が実施する各区からの要望に基づき、順次実施する。

質問 災害時の避難施設について。

答弁 中野市地域防災計画の中で定めている。

質問 中野市公会堂建設事業補助金について。

答弁 相互の理解と親睦を深め連帯意識の向上を図るために、会議、集会等を行う施設、公会堂等の建設に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

新しい地方公会計制度について

質問 平成21年度秋までに新しい公会計制度が導入されるか。

答弁 総務省において、人口3万人以上の都市は、平成20年度決算から、バランスシート、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書の4種類の表を整備することとされ、21年度秋を目処に公表することとされている。

質問 新しい公会計制度導

その他の質問
国が進める耕作放棄地対策の推進について

平成19年度と20年度の各部署(課)別需用費について

総務文教委員会報告

条例案5件、予算案4件
意見書案1件、陳情1件に
ついて12日、13日に審査し
ました。

主なものは、条例案では、
24時間電話医療相談所の開
設に伴い、特殊勤務手当に
「夜間医療相談手当」を新
たに加える、中野市一般職
の職員の特殊勤務手当に関
する条例の一部を改正する
条例案については、他の条
例案4件と同様原案どおり
可決されました。

予算案では、平成20年度
一般会計補正予算（第6
号）については、退職手当
や基金積立金の増額など、
事業の確定等に伴う事業費
の変更、財源組替のほか、
繰越明許費の設定、債務負
担行為及び地方債の各補正
などで補正総額6千2万
円を追加し、予算総額
220億8千42万4千円とする
もので、原案どおり可決さ
れました。
平成21年度一般会計予算

については、総額178億円で、
議会費1億7千939万9千
円、総務費関係部分
20億2千105万5千円、消防
費6億8千774万6千円、教
育費15億7千665万3千円、
公債費24億5千453万4千円、
予備費4千万円については、
他の特別会計予算2件と同
様いずれも原案どおり可決
されました。

陳情では、ソマリア沖へ
の海上自衛隊派遣の中止を
求める意見書の採択を求め
る陳情については、賛成少
数で不採択となりました。

委員会終了後、テレビ北
信ケーブルビジョン(株)と豊
田情報センターを視察しま
した。



総務文教委員会
豊田情報センター視察



民生環境委員会報告

条例案5件、予算案12件
事件案6件、意見書案2件、
陳情1件について、12日、
13日、16日に審査しました。

主なものは、条例案では、
平成21年度の介護報酬の改
定に伴う介護保険料の急激
な上昇を抑制するため、基
金を設置する中野市介護従
事者処遇改善臨時特例基金
の設置、管理及び処分に関
する条例案、平成21年度か
ら平成23年度までの介護保
険事業に要する費用に充て
る第1号被保険者の保険料

率の区分及び額等を定める
ため、所要の改正を行う中
野市介護保険条例の一部を
改正する条例案、健康保険
法施行令の一部改正に伴い
引用条項について改正を行
う中野市福祉医療費給付金
条例の一部を改正する条例
案については、ほかの条例
案2件と同様、いずれも原
案どおり可決されました。
予算案では、平成20年度中
野市一般会計補正予算（第
6号）については、民生
費では、扶助費の確定な

どにより社会福祉事務費
284万1千円の増、自立支援
事業費2千789万6千円の増
在宅福祉事業費210万4千
円の減、福祉医療費給付事
業費920万4千円の減、乳
幼児等医療費給付事業費
1千66万4千円の減、高齢
者在宅サービス事業費47万
円の減額などであり、衛生
費では、健康診査事業費で
検診委託料の確定等によ
り350万7千円の減、環境
衛生費でごみ減量化、再
資源化事業費委託料等で
1千406万8千円の減額な
どであり、ほかの特別会計補

正予算案5件と同様いづれ
も原案どおり可決されまし
た。

平成21年度中野市一般會
計予算について、総務費関
係部分2億4千362万円、民
生費45億4千384万9千
円、衛生費15億7千644万円に
ついては、ほかの特別会計予
算案5件と同様いづれも原
案どおり可決されました。

事件案では、中野市デイ
サービスセンターいこい苑
ほか3施設の指定管理者の
指定などであり、ほかの事
件案5件と同様いづれも原
案どおり可決されました。

意見書案では、「長野県
福祉医療費給付事業補助
金」の受給者負担引き上げ
中止を求める意見書及び保
育の質を確保できる保育制
度の維持を求める意見書に
ついては、いずれも賛成少
数で否決となりました。

陳情では、「物価上昇に
見合う年金引き上げについ
て」の陳情については、賛
成少数で不採択となりまし
た。



経済建設委員会報告

条例案5件、予算案13件、事件案16件、意見書案1件について、12日、13日に審査しました。

主なものは、条例案では、豊田赤坂農村公園を農村公園として設置するために所要の改正を行う、中野市農村公園の一部を改正する条例案については、他の4件の

条例案と同様、いずれも原案どおり可決されました。

予算案では、平成20年度中野市一般会計補正予算(第6号)について、それぞれ事業費等の確定による補正であり、他の特別会計補正予算案5件と同様いずれも原案どおり可決されました。

平成21年度中野市一般会計予算について、労働費8千303万2千円、農林水産業費は8億9千822万5千円、商工費では5億9千903万5千円、土木費2億9千642万2千円については、他の特別会計予算6件と同様、いずれも原案どおり可決されました。

事件案では、中野市乗馬センターの指定管理者の指定ほか指定管理者の指定等

■意見書

〈修正可決された意見書〉

(関係行政庁に提出)

雇用不安等の解消を

求める意見書

雇用情勢の悪化は、かつてないほど深刻で、厚生労働省の調べでは、「派遣切り」などで昨年10月以降に職を失った非正規労働者が、既に約16万人を超えるとされ、さらに増える予測されている。

政府の雇用統計によれば、解雇は非正規の労働者だけ

でなく、正社員にも及び始めており、景気を急速に悪化させている。1月の完全失業者は前年同月より21万人増の277万人(完全失業率4.0%)、有効求人倍率は0.67倍で前月を0.06ポイント下回り5年4カ月ぶりの低水準である。

アメリカ発の金融危機に端を発した今回の経済危機の特徴は、景気の悪化そのものがこれまでの不況に比べてかつてなく速いうえ、雇用の悪化が急速に進行しており、外需依存や、非正規労働者を拡大してきたことが背景にあるといわれている。

景気の悪化を食い止めるためには、国民の暮らしを支え、内需を拡大する対策をとることである。とりわけ大企業による解雇をやめさせ、雇用を確保し内需の6割を占める国民の消費を支えるためにも重要である。また、地域の雇用と経済に大きな影響を持つ中小企業を支援することも必要である。

よって、中野市議会は、国の政策として雇用不安等の解消のため最善を尽くすよう、指導・監督を強めることを強く求めるものである。

■陳情

13件及び北陸新幹線工事等による道路改良のため、市道網を再編成する市道路線の廃止、認定については原案どおり可決されました。

意見書案では、雇用不安等解消のため政府に必要な指導・監督を求める意見書については、雇用不安等解消を求める意見書として、修正のうえ全会一致で可決となりました。

◎陳情第1号 ソマリア沖への海上自衛隊派遣の中止を求める意見書の採択を求める陳情

中高地区憲法を

まもる会

会長 鈴木 弘二

(中野市中央三丁目5番29号)

◎陳情第2号 「物価上昇に見合う年金引き上げについて」の陳情

陳情者 全日本年金者

組合中高支部
委員長 稲葉 武治

外2名

(中野市大字田上瀬番地10)

2月 臨時議会

会期 2月13日 1日間

●議案件数及び議決内容
予算案 1件 可決

政府の緊急経済対策などの補正予算の成立を受け、それぞれの緊急経済対策等を盛り込んだ、平成20年度中野市一般会計補正予算(第5号)については、
総務費8億9千766万4千円、民生費1億223万1千円、衛生費859万1千円、労働費67万5千円、農林水産業費1千966万2千円、商工費1千361万5千円、土木費7千847万2千円、消防費1千770万2千円、教育費1億2千682万4千円、総額12億6千543万6千円を追加し、予算総額22億2千430万4千円とするもので、各常任委員会を開催し、審査を行い、本会議において賛成多数で可決されました。

議会改革検討委員会

平成18年12月に議会改革検討委員会を設置してから、平成21年末までに、20回の委員会を開催し、議会改革検討事項について、協議・検討を行ってきました。

また、平成20年5月8日から6月10日までは、議会改革に関するアンケートを市民の皆様にお願いをし、12月1日、3日、5日には市内5会場で住民説明会を開催しました。

さらに、12月25日から平成21年1月25日にかけては、議員定数他のパブリックコメントを行うなど、その都度市民の皆様にご意見を伺いながら議会改革を進めてきました。

議会議員定数について

議会改革検討事項のうち、議員定数については、現在の22名から2名減の20名とするのを最終的に決定し、去る3月定例会最終日の3月19日に、次回市議会議員選挙から議員定数を20名とする内容の「中野市議会議員定数条例の一部を改正す

る条例案」が賛成議員により提出され、本会議において賛成多数で可決されました。

なお、現在の議員の任期は平成18年5月1日から平成22年4月30日までで、議員数は現在1名が欠員となつていするため、21名です。

常任委員会定数について

議員定数が2名削減されることから、次回選挙により選出された議員の任期が始まる日から、民生環境委員会及び経済建設委員会の委員定数を現在の7名から6名とする、中野市委員会条例の一部を改正する条例案も議会最終日に共に提出され、全会一致で可決されました。

その他検討事項について

なお、その他の議会改革検討事項、住民説明会についていただいたご意見等については、今後も議会改革検討委員会を開催し、協議・検討をしていきます。



表紙の写真

(高梨館跡公園
タカトオコヒガンザクラ)
「広報なかの」平成6年5月号の1ページから

「市制施行40周年記念事業として(平成6年)4月25日、高梨館跡公園でタカトオコヒガンザクラの記念植樹を行いました。
このザクラは、上伊那郡高遠町(現在の伊那市高遠町)の「高遠城址公園」に植えられているもので、(県の)天然記念物にも指定され「天下第一のザクラ」と賞されています。
今回双方とも戦国の武将武田氏に縁があることから、(当時の)高遠町の(当時の)北原三平町長より特別に寄贈を受けたものです。



植樹には、(当時の)北原三平町長をお迎えして、(当時の)土屋武則市長(故人)とともに記念植樹を行い、地元地区の皆さんや市議会議員の手で10本の苗木が大切に植えられました。
植樹されました10本の桜の木は立派に育ち、去る4月12日に行われた「高梨桜まつり」では、大勢の人が桜を楽しんでいました。

第2代後期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長	山岸 國廣
副委員長	竹内 知雄
委員	清水 照子
町田 博文	林 紘一
西澤 忠和	佐藤 恒夫
沢田 一男	金子 芳郎
野口 美鈴	

あとがき

地球温暖化の進行を象徴するような今年の冬でした。小田切市長初の通年予算を審議する3月議会が終了しました。12人の議員が市長の予算編成にあたっての基本姿勢、重点施策等について質問しました。

昨年からアメリカ発の経済危機による世界的な景気後退が続く中、長野県内の製造業は過去最低の景気と言われています。そんな中で、WBCでの日本チームが世界一に輝いたことは明るいニュースでありました。

北信総合病院と共同で24時間対応の「電話医療相談所」が開設されました。市民の安心・安全のための活動に期待が寄せられます。また、文化公園の創造館が博物館として新たに文化振興の拠点施設となります。大いに活用したいものです。今後も議会として、市民の皆様のご意見を真摯に受け止め活発な活動を展開してまいりますのでよろしくお願ひします。